

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の 「学校連携観戦プログラム」への参加見送りについて

令和3年6月21日に、大会組織委員会から、オリンピック競技大会に係る観客数の上限が発表されたが、学校連携観戦については別枠となり、希望している全児童・生徒の観戦が可能となった。

しかし、立川市教育委員会としては、現在、東京での感染者数が増加傾向で、学校観戦が予定されている7月下旬頃までに減少する見込みがなく、さらに、従来株より感染力が強い変異株の割合が増えており、感染リスクが高まっていること、また、学校の引率体制の拡充が難しい中では、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期すことができないことなどから、児童・生徒の安全確保が困難であると判断して、学校連携観戦プログラムへの参加を見送ることとしたい。

なお、オリンピック・パラリンピック教育については、その意義等も含め、タブレットPCの活用などにより、各校で工夫して取り組むこととする。

【参加見送りとする理由】

- ・ 競技会場までの移動は公共交通機関利用に限られ、多人数での移動では新型コロナウイルス感染対策に万全を期すことができないこと
- ・ 新型コロナウイルス感染防止対策のためマスク着用が必須であり、炎天下の移動では児童・生徒の熱中症リスクが高いこと
- ・ 小・中学校校長会より、引率体制等、児童・生徒の万全な安全確保策を講ずることが難しいため、学校連携観戦プログラムへの参加見送りの要望が教育委員会に寄せられていること
- ・ 立川市医師会からも学校連携観戦プログラムへの参加について、「児童生徒のオリパラ現地参加には反対。自宅でのテレビ観戦を推奨する。」との見解が示されていること